平成18年12月

名木沢地区 消流雪用水通水

名木沢地区 消流雪用水導入事業の目的

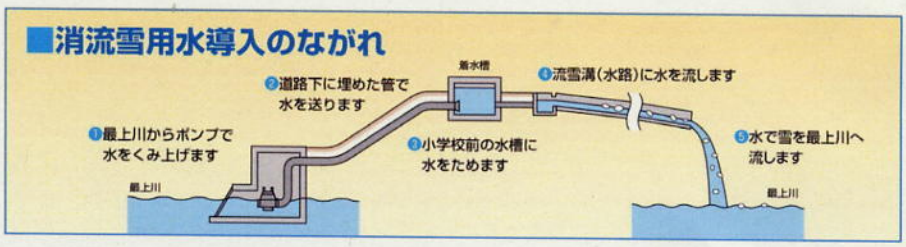
雪の多い当地区では冬の降雪により、毎日の除雪作業を強いられるほか、特に市街地においては除排雪場所の確保が困難となり、歩道や車道に堆積した雪によって交通障害が起こるなど、地域住民の生活環境に大きな支障をきたしております。消流雪用水導入事業は、このような地域の安全で快適な生活環境を守るため、最上川から水を導水して、市街地の水路(消流雪溝)網に消流雪用水として供給するための導水路等の整備を行うものです。



事業内容

新庄河川事務所では、最上川から消流雪用水として最大毎秒0.52㎥(立方メートル)の水を取水するために取水施設と導水管及び着水槽施設、操作室の整備を行いました。 最上川からポンプで取水した水は、名木沢小学校前の交差点近くに設けた着水槽に導水管(φ800㎜)で送水しています。着水槽からは名木沢地区内の市道及び国道13号線の流雪溝に供給しています。

■消流雪用水導入のながれ





■受益対象地域

